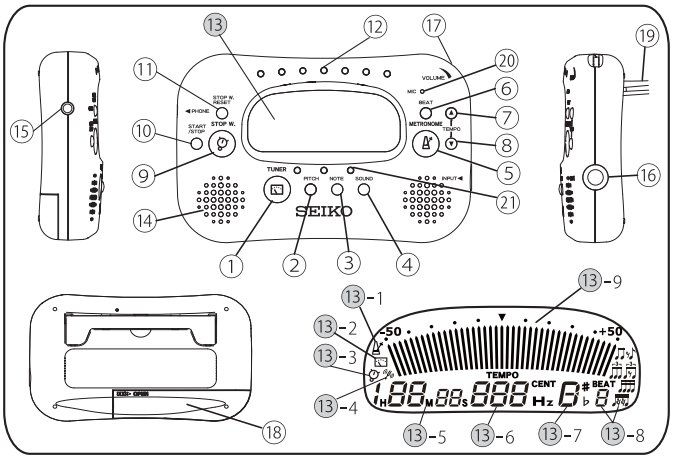
SEIKO METRONOME & TUNER with STOPWATCH
STH100



取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を表示しています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例

この絵表示はしてはいけない「禁止」を告げる内容です。	この絵表示は必ず実行していただく「強制」であることを告げる内容です。

― 以下の指示を必ず守ってください。―

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。	
この機器を分解・修理・改造しない。 故障・ショートの原因になります。	電池を火の中に入れない。 破裂・発熱・発火の恐れがあります。
水滴のついた手で、スイッチ操作をしない。 ショート・感電の恐れがあります。	

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。	
電池は ⊕ ⊖ を正しく装着する。 故障の原因になります。	電池は長時間使用しないときは外す。 漏液等で故障の原因になります。
スイッチや本体に無理な力を加えたり、落としたり、強くぶつけたりしない。 故障・けがの原因になります。	お手入れにはシンナー・アルコール類は使用しない。 故障の原因になります。
次のような場所での使用や保存はしない。 故障の原因になります。 ・温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など） ・水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所 ・ホコリの多い場所 ・振動の多い場所	

各部の名称

① チューナースイッチ
② ピッチスイッチ
③ ノートスイッチ
④ サウンドスイッチ
⑤ メトロノームスイッチ
⑥ ビートスイッチ
⑦ テンポアップスイッチ
⑧ テンポダウンスイッチ
⑨ ストップウォッチスイッチ
⑩ スタート/ストップスイッチ
⑪ リセットスイッチ
⑫ メトロノーム表示LED
⑬ 液晶ディスプレイ
⑭ スピーカー
⑮ イヤホンジャック(モノラル)
⑯ インプットジャック
⑰ 音量ボリューム
⑱ 電池カバー
⑲ スタンド/譜面台取り付け部
⑳ 内蔵マイク
㉑ チューニングガイドLED

⑬-1 メトロノームアイコン
⑬-2 チューナーアイコン
⑬-3 ストップウォッチアイコン
⑬-4 サウンドアイコン
⑬-5 ストップウォッチ表示
⑬-6 セント/基準ピッチ/テンポ表示
⑬-7 音名表示
⑬-8 オクターブ/ビート/リズム表示
⑬-9 メーター表示

チューナーモードの使い方

メーターでチューニングする場合

1）チューナースイッチを押してチューナーアイコンを画面に表示させます。
2）ピッチスイッチを押して基準ピッチを設定します。（長押しすると早送りになります。）
3）内蔵マイクのそばで楽器を単音で鳴らします。（別売のマイクSTM20等を使用する場合は、インプットジャックにプラグを差し込みます。インプットジャックにプラグが挿入されている場合、内蔵マイクはご使用になれません。）
4）楽器を鳴らし、合わせたい音名が表示されて液晶ディスプレイのメーター表示とセント表示がゼロセントになるように楽器をチューニングします。（楽器の音が±3セント以内になるとチューニングガイドLEDの中央の緑が点灯します。）

基準音を鳴らしてチューニングする場合

1）サウンドスイッチを押してサウンドアイコンを画面に表示させます。音量は音量ボリュームで調整できます。発音を停止する場合は再度サウンドスイッチを押します。
2）ノートスイッチで音名を選び、ピッチスイッチで基準ピッチを設定します。
3）発音される基準音に合わせてチューニングをします。
※ 基準音が発音されている間は内蔵マイク及びインプットジャックからの入力によるチューニングはできません。

メトロノームモードの使い方

1）メトロノームスイッチを押してメトロノームアイコンを画面に表示させます。テンポに合わせてメトロノーム表示LEDが往復点灯し、スピーカーからテンポ音を発音します。音量は音量ボリュームで調整できます。
2）テンポアップまたはダウンスイッチを押して希望のテンポに設定します。（長押しすると早送りになります。）
3）ビートスイッチを押して希望の拍子やリズムに設定します。（長押しすると早送りになります。）

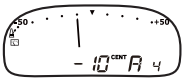
ストップウォッチモードの使い方

1）ストップウォッチスイッチを押してストップウォッチアイコンを画面に表示させます。
2）スタート/ストップスイッチを押してカウントを開始します。カウントは秒単位で表示されます。
3）カウントを停止する場合は、再度スタート/ストップスイッチを押します。表示はその時の表示で停止します。積算タイムは最大で1時間59分59秒まで測定できます。
4）表示をリセットする（ゼロに戻す）場合は停止の状態でリセットスイッチを押します。

チューナー・メトロノーム・ストップウォッチを組み合わせて使う

- STH100はチューナーモード、メトロノームモード、ストップウォッチモードを自由に組み合わせて同時に使用することができます。
- チューナーとメトロノームを同時使用する際、画面はチューナーの表示が優先されます。同時使用中にメトロノームの設定を変える場合には画面は一時的にメトロノームの設定表示画面に切り替わり、設定変更中はチューニングができません（図1）。

［図1］



その他の機能

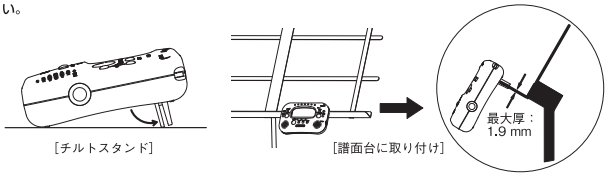
- オートパワーオフ機能：一定時間、音の入力やスイッチ操作が無かった場合、自動的に電源がオフになります。

チューナーモード	音の入力やスイッチ操作が無くなってから	30分後にモードオフ
メトロノームモード	スイッチ操作が無くなってから	30分後にモードオフ
ストップウオッチモード	積算タイムが1：59：59になってから	1秒後に全ての電源オフ
	カウント停止状態で	30分後にモードオフ

※ オートパワーオフ機能は次の操作で一時的にキャンセルすることができます。（電源を切ると再度オートパワーオフ機能が復帰します。）
電源オフの状態から、リセットスイッチ+ビートスイッチ+チューナースイッチを同時に押します。（1.5秒間OFF表示が点滅表示します［図2］。）

［図2］

- メモリーバックアップ：ご使用中に手動で設定された値は電源がオフになっても内蔵メモリーに記憶されています。ただし、電池交換などで電池を抜いてしばらくするとメモリーの内容は消去されます。
- 背面にあるスタンド兼譜面台取り付け部を使って譜面台に取り付けたり、チルトスタンドとしてお使いいただくことが出来ます。ご使用の際は背面のスタンド/譜面台取り付け部をカチッと止まるところまで手前に引き起こしてください。譜面台に取り付ける場合は、スタンド/譜面台取付部にあるスリットを差し込んでお使いください。



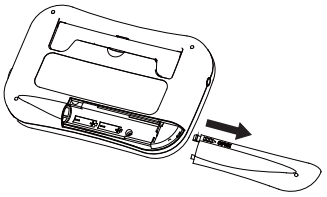
［チルトスタンド］　［譜面台に取り付け］

電池交換の方法

電池が消耗してきますと液晶ディスプレイやLEDが暗くなります。このような場合は速やかに電池交換を行ってください。

1）全てのモードをオフにします。
2）製品裏側にある電池ぶたを矢印の向きにスライドさせて外します。
3）消耗した電池を取り出し、新しい電池を極性表示に合わせてセットします。
4）各モードスイッチを押して正常に動作することを確認します。

※ 電池の交換は2本同時に行ってください。新旧の電池を混ぜて使用したり、種類やメーカーの違う電池を混ぜてご使用にならないで下さい。
※ 古い電池は各自治体の処分方法に従って適切に廃棄してください。
※ 付属の電池は機能確認用ですので寿命が短い場合があります。



ご注意事項

- イヤホンでお使いになる際は、聴覚に悪影響を与える恐れがありますので、大音量でのご使用や長時間のご使用はおやめ下さい。
- 周囲の音やハムノイズなどの影響で楽器を鳴らさなくてもチューニングの時のような表示をすることがありますが故障ではありません。
- チューニング可能な範囲の音が入力されても倍音の多い楽器や、音の減衰が早い楽器は正しくチューニングできない場合があります。

仕様

チューナー

チューニング範囲	：	A0～C8
基準音発振	：	C4～B4（12音）
調律精度	：	±1 cent（チューナー単体動作時）
基準音精度	：	±1 cent
基準ピッチ	：	A4=410Hz ～ 450Hz

メトロノーム

テンポ範囲	：	30BPM～250BPM
ビート、リズム種類	：	0～7拍子、♩、♪♪、♪♫、♪♪♪、♪♬
テンポ精度	：	±0.1%

ストップウオッチ

計測単位	：	1秒計
最大測定時間	：	1時間59分59秒

その他の仕様

付加機能	：	メモリーバックアップ、オートパワーオフ
端子	：	インプットジャック(Φ6mm モノラル)／イヤホンジャック(Φ3.5mm モノラル)
電源	：	単四乾電池 × 2本 （3V）
寸法	：	121.7 (W) × 74.5 (H) × 27.1 (D) mm（突起部含む）
重量	：	145g（電池含む）
付属品	：	取扱説明書、機能確認用単四型マンガン乾電池 × 2本

※仕様および外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。